



令和8年9月30日

国土交通省関東地方整備局

常総国道事務所

東日本高速道路株式会社関東支社

事業連絡調整会議（第9回）の開催結果について

～東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）～

東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）の現在の進捗状況等について、国土交通省、茨城県、沿線市及び東日本高速道路株式会社で情報共有を図るため、「東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）事業連絡調整会議（第9回）」を開催しましたので、開催結果をお知らせします。

開催日時：令和8年9月30日（水） 9時30分～

会議形式：Web会議

構成機関：国土交通省 関東地方整備局 常総国道事務所
常陸河川国道事務所

茨城県土木部道路建設課

潮来市建設部

行方市建設部

鉾田市建設部

東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所

議事概要：別添のとおり

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 常総国道事務所

電話：029-826-2040（代表） メールアドレス：ktr-jousou@mlit.go.jp

副所長 萩野谷（はぎのや）

東日本高速道路株式会社 関東支社 広報課

電話：048-631-0222（代表）

【お客さま窓口】NEXCO東日本お客さまセンター 電話：0570-024-024

または 電話：03-5308-2424

東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）事業連絡調整会議（第9回）
開催結果概要

1. 日時

令和8年9月30日（水） 9：30～

2. 出席者

茨城県 土木部 道路建設課長 鹿内 秀樹

潮来市 建設部長 濱野 一也

行方市 建設部長 堀井 健司（代理）

鉾田市 建設部長 竹内 正利（代理）

国土交通省関東地方整備局 常総国道事務所長 川路 隆之

常陸河川国道事務所長 佐々木 哲也

東日本高速道路株式会社関東支社 つくば工事事務所長 池田 浩基

3. 議事概要

今回の調整会議において、事業の進捗状況及び行方PA（仮称）の進捗状況について事業者から茨城県、潮来市、行方市、鉾田市に報告し、以下の事項を確認した。

（1）現在の進捗状況について

- ・用地取得率は約99%。現在、全線で工事を実施中。
- ・電力線等の支障物件92箇所は、令和8年5月までに全て移設完了。
- ・行方PA（仮称）は用地買収を実施中。

（2）事業の進捗に関する留意事項

- ・現在、潮来IC～行方IC間の約8割の切土工事が完了しているが、引き続き、土の性状が悪い発生土の土質改良や法面養生を実施しながら慎重に切土工事を実施。
- ・令和8年3月時点で沈下収束が長期化していた8箇所の盛土については、沈下収束を確認。
- ・潮来IC～行方IC間の約8割の盛土工事が完了し、現在7箇所の盛土工事を実施中であるが、引き続き、沈下促進対策や沈下収束の状況確認など慎重な施工管理をしながら盛土工事を実施。

（3）今後の事業進捗について

- ・令和8年度の半ばの開通を目指していた行方IC～鉾田IC間については、令和8年11月22日に開通予定。
- ・令和8年度の開通を目指していた潮来IC～行方IC間については、盛土材の土質改良や盛土の沈下収束の状況確認など慎重な施工管理が必要であることから、令和9年度の開通を目指して工事を進めていく。
- ・盛土材の土質改良や盛土の沈下収束の対応などの現地条件の変更により事業費の増加が見込まれる。
- ・今後も引き続き、コスト縮減を図りながら事業を推進する。

（4）その他

- ・引き続きコスト縮減を図りながら、令和9年度に全線開通するよう事業推進をお願いしたいとの意見が、茨城県よりあった。

以 上

東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田) 事業連絡調整会議(第9回)

説明資料

令和8年9月30日

国土交通省関東地方整備局
常総国道事務所
常陸河川国道事務所
東日本高速道路株式会社関東支社
つくば工事事務所

＜目 次＞

1. 現在の進捗状況について

- ・工事の進捗状況
- ・行方PA(仮称)・地域振興施設の進捗状況

2. 事業の進捗に関する留意事項

3. 今後の事業進捗について

至
千葉

- 至水戸

進捗状況



※本線開通に必要な用地取得は完了

行方PA(仮称)

行方PA(仮称)

用地状况

工事中

■ 用地取得済

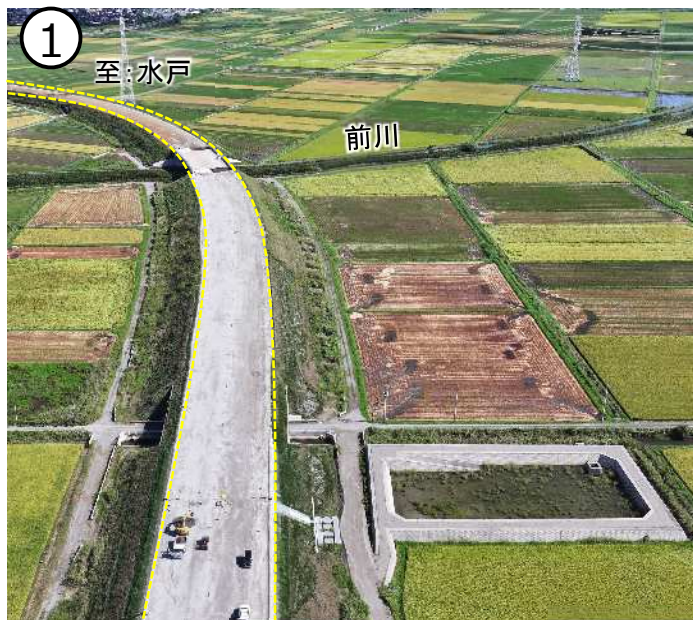
■ 用地取得中

☐ 工事未着手・用地未取得

工事の進捗状況(潮来IC～潮来行方IC)



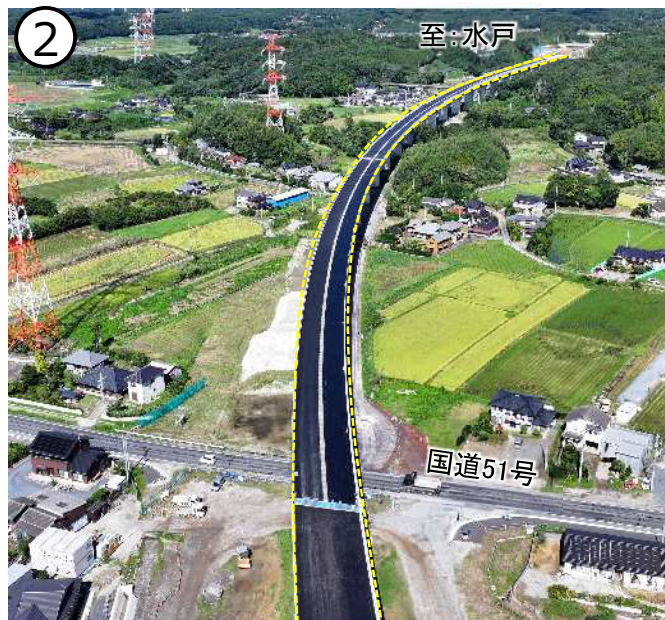
潮来市延方地区



至:千葉

R8.9撮影

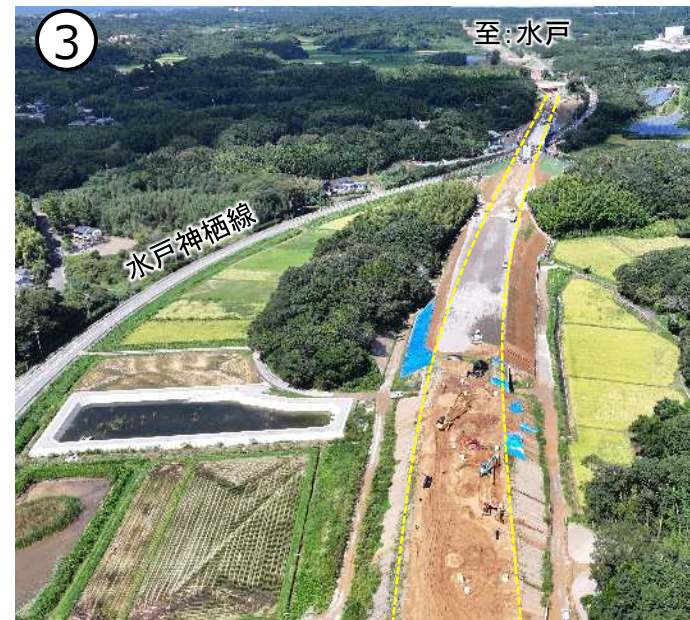
潮来市小泉地区



至:千葉

R8.9撮影

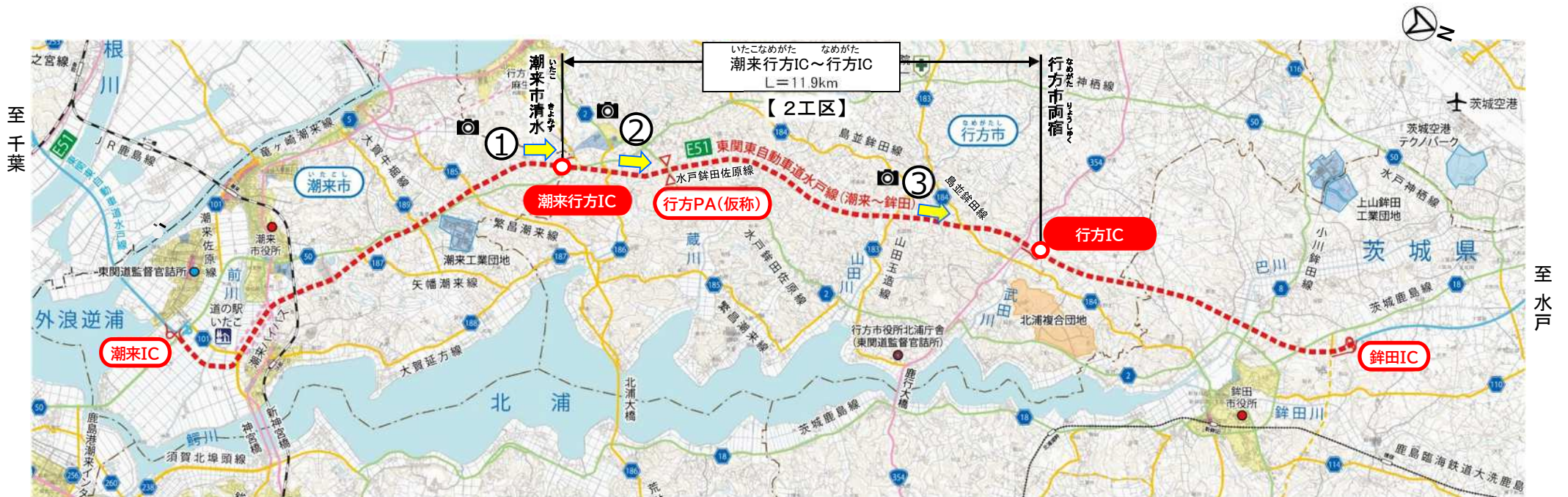
潮来市築地地区



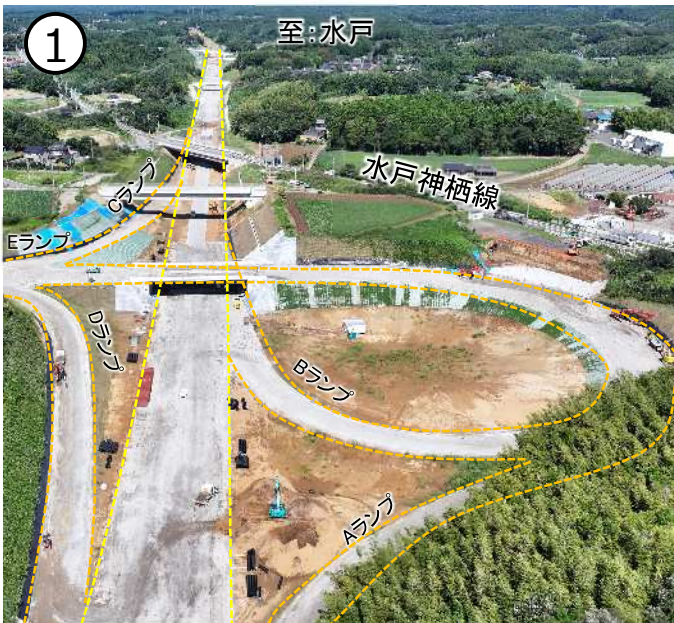
至:千葉

R8.9撮影

工事の進捗状況(潮来行方IC～行方IC)



潮来行方IC



至:千葉

R8.9撮影

行方市青沼地区



至:千葉

R8.9撮影

行方市両宿地区



至:千葉

R8.9撮影

工事の進捗状況(行方IC～銚田IC)



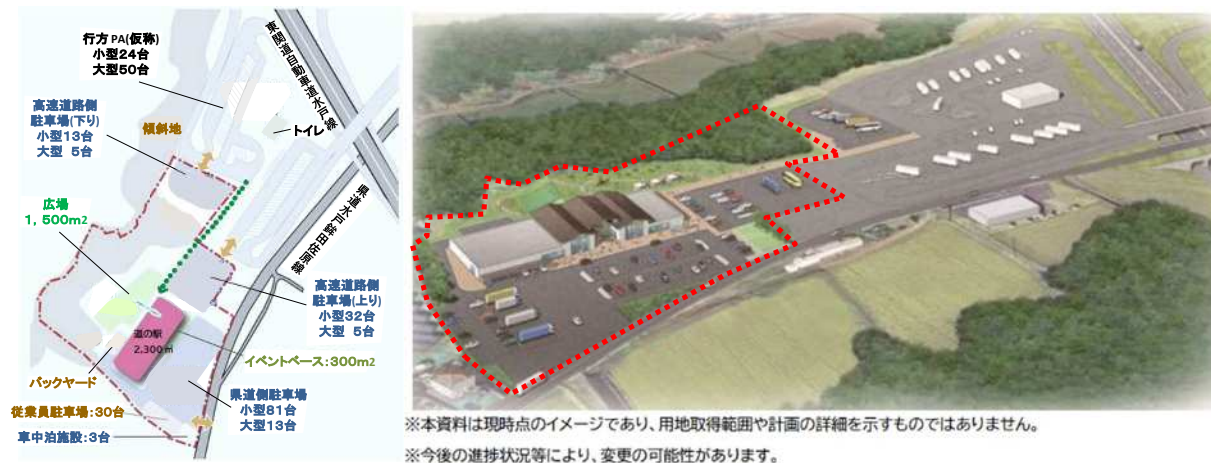
行方PA(仮称)・地域振興施設の進捗状況

- 地域活性化の場として活用する地域振興施設を行方PA(仮称)に併設(農産物等の地域資源の有効活用などを予定)
- 行方PA(仮称)については、令和6年9月から用地交渉を開始し、用地買収を実施中。
- 地域振興施設については、行方市が施設整備の方針となる「行方市地域振興施設(道の駅)基本計画」を令和7年3月に策定

行方PA(仮称)・地域振興施設の設置位置

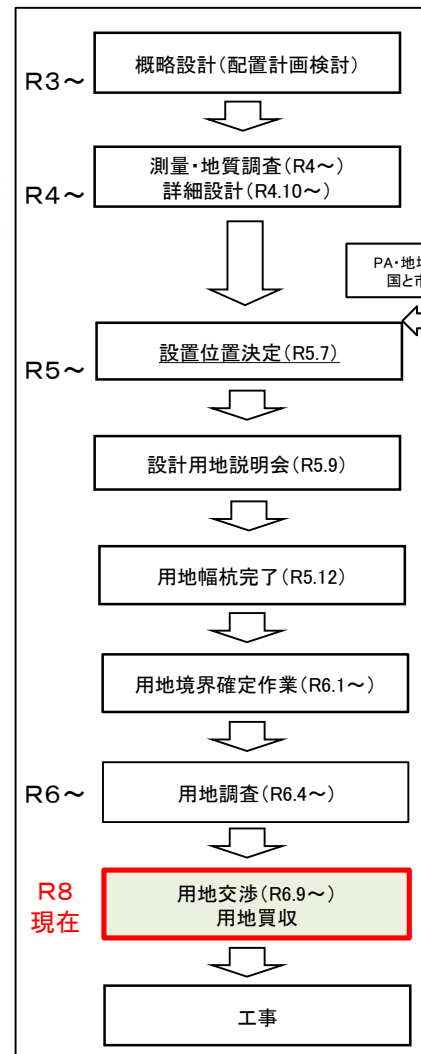


行方PA(仮称)・地域振興施設の施設配置イメージ

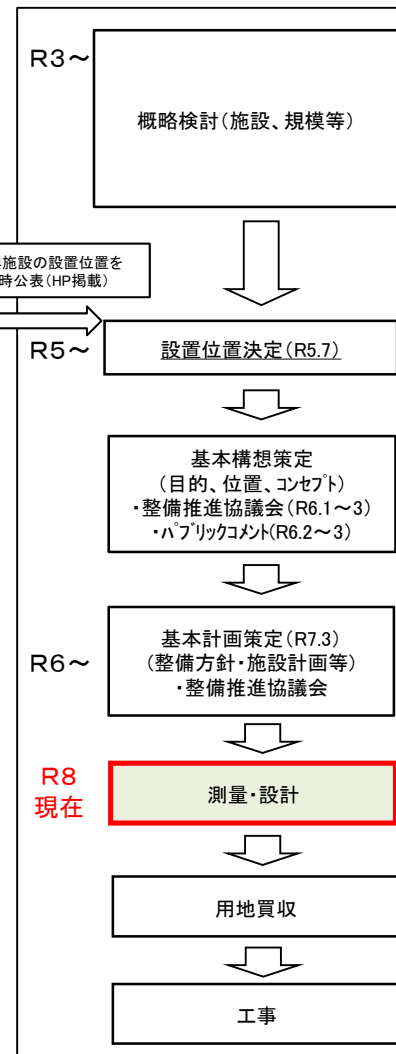


出典) 行方市地域振興施設(道の駅)基本計画(R7.3)

行方PA(仮称)＜国＞



地域振興施設＜行方市＞



事業の進捗に関する留意事項(工事)

- 東関東道はコスト縮減や環境への負荷を考慮して、切土部から発生した土砂を盛土工事に活用
- 地質調査結果よりも切土部の利用可能な土(良質土)の層厚が薄く、土質試験の結果、一部の土は性状が悪く、盛土材として適合しないことが判明したことから、仮置場に運搬し、土質改良を追加で実施している状況
- また、降雨による法面浸食の発生が確認されていることから、法面を養生しながら切土工事を実施している状況
- 現在、潮来IC～行方IC間の約8割の切土工事が完了しているが、引き続き、土の性状が悪い発生土の土質改良や法面養生を実施しながら慎重に切土工事を実施

位置図



切土工事の状況
(①潮来市築地地区)



土の性状が悪い切土区間の状況



地下水位が高く、掘削中に湧水が発生

土質改良の状況



含水比・粒度が不均一で
土が脆い状態

盛土材として軟らかく
土質改良が必要

土質
改良



土質改良の施工状況

法面浸食の状況
(②行方市石神地区)



事業の進捗に関する留意事項(工事)

- 盛土の沈下収束は、地質調査を基に解析を行い、施工管理をしているが、潮来IC～行方IC間において沈下が長期化している箇所が確認されたことから、沈下促進対策として追加で盛土を実施
- 令和8年3月時点で沈下収束が長期化していた8箇所の盛土については、沈下収束を確認(解析:24日→沈下収束の確認:171日)
- 潮来IC～行方IC間の約8割の盛土工事が完了し、現在7箇所の盛土工事を実施中であるが、引き続き、沈下促進対策や沈下収束の状況確認など慎重な施工管理をしながら盛土工事を実施

位置図



盛土工事の状態 (②行方市小幡地区)



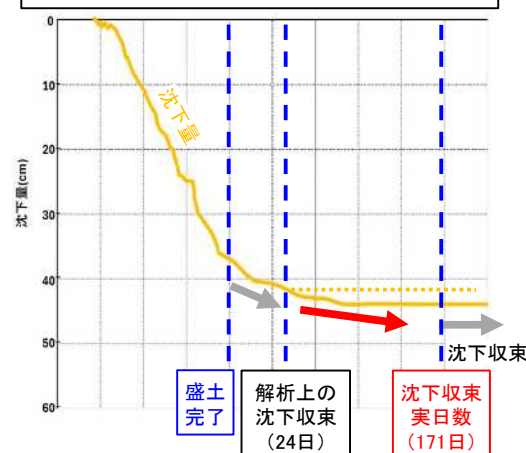
重機による盛土転圧状況

不均一な沈下の状況



不均一な沈下により、盛土完了後にひび割れや段差が発生するなど、沈下収束が長期化

沈下収束の状況



解析では24日で収束する予定であったが、不均一な沈下により沈下収束が長期化し171日必要となった。

沈下収束を確認した盛土箇所 (①行方市両宿地区)



盛土工事の状態 (③潮来市茂木地区)



重機による盛土敷均し転圧状況

今後の事業進捗について

- 東関東道本線に必要な用地の明け渡しは完了しており、支障物件の移設も令和8年5月までに完了
- 令和8年度の半ばの開通を目指すとしていた行方IC～銚田IC間については、令和8年11月22日に開通予定
- 令和8年度の開通を目指すとしていた潮来IC～行方IC間については、盛土材の土質改良や盛土の沈下収束の状況確認など慎重な施工管理が必要であることから、令和9年度の開通を目指して工事を進めていく
- また、盛土材の土質改良や盛土の沈下収束の対応などの現地条件の変更により事業費の増加が見込まれる
- 今後も引き続き、コスト縮減を図りながら事業を推進する

東関東自動車道水戸線(潮来～銚田) L=30.9km(2/4)

